

市町村長・管理職特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾

1月13日・14日に、「市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾」及び「管理職特別セミナー～自治体経営の課題～」を開催しました。コロナ禍により令和3年度初の開催となった本セミナーには、全国各地から計76人の市町村長（副市町長含む）、管理職の皆様にご参加いただきました。

1日目は初めに、「大規模災害から地域を守る～静岡県熱海市の豪雨災害から学ぶ～」と題して、静岡県副知事の難波喬司氏から、有事におけるリーダーの取るべき行動、組織づくり、情報公開の重要性、自治体の役割等についてご講演いただきました。参加者からは、「災害現場の最前線で指揮を執られた方だけに、話に説得力がありとてもよい参考となった」、「非常に幅広い視点で災害対応への意識や行動、情報公開などについて理解を深めることができた」、「平時から組織全体で意識改革を図っていく必要性を改めて認識した」などの感想をいただきました。

続いて、「地方行財政の課題」と題して、総務事務次官の黒田武一郎氏から、令和4年度地方財政対策の詳細、税制改正の概要、一般会計予算の概要や今後の中長期的な課題等についてご講演いただきました。参加者からは、「論点が明確で、国の考えや方向性がよくわかった」、「財政問題だけでなく、行政課題の主要なテーマについてわかりやすく説明いただいた」、「国の予算状況や市町村の課題にもリンクした制度構築や、住民サービス反映への方向性などについて理解できた」などの

感想をいただきました。

2日目は、まず、「渋沢栄一の「論語と算盤」より日本の未来を拓く」と題して、シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役の渋澤健氏から、社会の変化に対応する心構えやどの時代にも通じる普遍性等、渋沢栄一の言葉に包有されている、現代だけでなく未来をも見据えた考え方についてご講演いただきました。参加者からは、「渋沢栄一の考え方を現代社会にあてはめて、詳しく未来まで考える力をもらえる素晴らしい講演だった」、「物事の見方について、既成概念を離れた視点の必要性を実感することができた」、「大きな時代の流れを俯瞰したスケールの大きさに感銘を受けた」などの感想をいただきました。

最後に、「よりよい組織づくりが、よりよい人材をつくる」と題して、青山学院大学地球社会共生学部教授・陸上競技部長距離ブロック監督の原晋氏から、組織づくりの基本、監督としての自身の具体的な組織づくりの取り組み、育成すべき人材や効果的な組織づくりに必要な信念等についてご講演いただきました。参加者からは、「組織づくりの基本と人づくりを楽しく紹介していただいた」、「行政組織の組織論に通じる内容であり、人材育成を含めて非常に共感し参考になった」、「勇気と力をもらった。話術も自己鍛錬も全て一流だと思った」などの感想をいただきました。

大規模災害から地域を守る～静岡県熱海市の豪雨災害から学ぶ～

静岡県副知事
難波 喬司氏



地方行財政の課題

総務事務次官
黒田 武一郎氏



渋沢栄一の「論語と算盤」より日本の未来を拓く

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社
代表取締役
渋澤 健氏



よりよい組織づくりが、よりよい人材をつくる

青山学院大学地球社会共生学部教授・
陸上競技部長距離ブロック監督
原 晋氏



市町村議会議員特別セミナー

市町村議会議員特別セミナーを、1月6日、7日の2日間の日程で開催しました。全国各地からご参加いただいた104人の市町村議会議員の皆様に聴講いただきました。

初日は、「自治体のデジタル化をどう進めるか」と題して、東京大学大学院情報学環教授の越塚登氏から、昨年発足したデジタル庁創設の経緯や最新の動向、デジタル化の必要性とその意義、自治体のデジタル化の現状と課題等についてご講演いただきました。参加者からは、「ユニークな講演で、勉強不足でもスッと内容が入ってきた」、「自治体のデジタル化が進まない理由が整理されて、頭がすっきりした」、「デジタル庁設置の経緯が良く理解できた」などの感想をいただきました。

次に、「子どもも保護者も笑顔になれる社会の実現に向けて」と題して、学習院大学文学部教授で東京大学名誉教授の秋田喜代美氏から、少子化社会の中で求められる子ども・子育て支援、こども家庭庁を含めた子ども政策の動向、子どもを中心としたまちづくり事例等についてご講演いただきました。参加者からは、「子ども政策の原点を考え直す機会になった」、「すごく興味のある分野で、会派でもよくテーマとして取り上げている」、「子どもを中心とした施策が今後の日本や自治体に必要不可欠であることが身に染みて理解できた」な

どの感想をいただきました。

2日目は、「自治体のハラスメント対策と議会」と題して、人事院公務員研修所客員教授の高嶋直人氏から、役所と民間の相違点を踏まえたハラスメント対策の重要性、議員に求められるコンプライアンス、公務員に特化した防止対策の必要性等についてご講演いただきました。参加者からは、「これまでの講義とは一線を画するものだった」、「法律上の観点や現在の状況を含めて、具体例を交えながらの講義は非常に理解しやすく考えさせられた」、「とても貴重で大切な話を伺った。長い議員経験の中ではじめて受講したテーマだった」などの感想をいただきました。

最後に、「自治体議会の政策力をどう強化するか」と題して、中央大学法学部教授で同大学院法学研究科教授の礒崎初仁氏から、自治体議会はどうあるべきか、議会の政策力を強化するための戦略、審議のポイント等についてご講演いただきました。参加者からは、「方向性、ポイント等を丁寧に示され、新人議員としてはとてもありがたい内容だった」、「先生の考える政策形成機能を発揮して活動していきたい」、「今回の研修を受け、改めて条例提案を検討したい」などの感想をいただきました。

自治体のデジタル化をどう進めるか

東京大学大学院情報学環教授
越塚 登氏



子どもも保護者も笑顔になれる社会の実現に向けて

学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授
秋田 喜代美氏



自治体のハラスメント対策と議会

人事院公務員研修所客員教授
高嶋 直人氏



自治体議会の政策力をどう強化するか

中央大学法学部教授、同大学院法学研究科教授
礒崎 初仁氏

